



動物レスキュー通信

2016年 4月 第35号 (平成28年4月1日発行)

発行元

一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長

愛玩動物飼養管理士 一級

お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

動物の個体識別

その目的と効果、種類

2016年4月1日より新潟県長岡市にある動物愛護センターでは、保護、譲渡する猫の体にマイクロチップを埋め込み、再び迷い猫や捨て猫となった場合でも、里親を識別できるようにする取り組みが始まります。その狙いとは、県内で年間二千匹を超える猫の殺処分数を減少させる事です。そして2年前程前にはロサンゼルスで飼い主のもとから離れて4年間も迷子になっていたという「インコ」がマイクロチップのおかげで、無事に飼い主さんと再会できたというお話もありました。又、最近では首輪にICタグをつけ、パソコフやスマートフォンのアプリを使って探す事ができたり、顔認識技術を使って迷子のワンちゃん、ネコちゃんを識別できるスマートフォンのアプリなど様々な方法で個体識別ができます。ではなぜこの個体識別が必要なのでしょう？

個体識別なぜ必要なの？

動物愛護法では動物の所有者は自分がその動物の飼い主である事を明らかにする事が努力義務となっています。愛犬家、愛猫家なら、たくさんのワンちゃん、ネコちゃんがいなくても、その中から「うちの子」を探し出す事はたやすい事かも知れませんが、なぜなら、ワンちゃん、ネコちゃんと飼い主さんとの間には切っても切れない信頼関係と愛が溢れており、これが目に見えない絆となり、多くの中からすぐに見出す事が可能にしています。ですがこの絆とは目に見えないものであり、第三者に目に見えない形で示す事はできません。要するに第三者に「うちの子です」と客観的に証明するために個体識別が大切なのです。そしてもうひとつ



つの理由として飼い主さんの責任を明確にする、という事です。自分がその動物の飼い主であるという事をはっきりと示す事によつて、社会に対して「私はこの動物の飼い主であり、最後まできちんと責任を持つて共に暮らします」と宣言している事に繋がります。裏を返せばこの個体識別を行う事によつて、捨てられた動物の飼い主がどの誰なのかわかりますので、動物を遺棄する事への抑止力となります。又、先程の「インコ」の例のように、ワンちゃん、ネコちゃんが迷子になってしまった時、誰かに保護されたり、動物愛護センターに収容されてしまった場合、個体識別ができれば殺処分されず帰る事ができます。飼い主さんが気が付かないうちに交通事故にでも合いケガをしてしまった場合にも、連絡を受ける事ができますし、万が一、その事故で亡くなってしまった場合でも身元が分かるので、身元不明のまま自治体に収容、処分されてしまふというような事が防げます。

主な犬猫の個体識別の種類

①「首輪」最も身近な個体識別方法です。長所としては安価、手入れしやすい、装着が簡単、動物への負担が少ない、多くの情報が表示できる、飼い主がいない事が一目でわかるなど。短所はひっかけたり破損する可能性、時間経過と共に情報が消える恐れがある、偽物に付けかえる事が可能、動物の体に触れないと確認できないなど。②「迷子札」長所としては首輪と同じく、そして短所としては首輪に加えて、名札単体で装着する事は出来ない、そして情報が

見えやすくなるので個人情報流出のリスクが高いという事です。③「鑑札」こちらはワンちゃんの飼い主さんの義務として、市町村にワンちゃんと暮らし始めた事を登録する義務があります。長所としては、鑑札をつける事によって市町村に登録している事が一目でわかり、飼い主の責任を果たしている証明にもなりますし、登録番号が記載されているので迷子になってしまったときでも連絡を貰える可能性が高くなり、そしてこちらも単独では装着できません④「マイクロチップ」世界的に主流となつてきている方法。長所として、哺乳類はもちろん鳥類、爬虫類、魚類などにも装着可能、破損などはほとんどない、偽物の付けかえるのはほぼ不可能、獣医師による作業にはなるが装着が簡単、動物の体へは非接触で情報入手可能、動物の体へは比較的少ない。短所としては飼い主からの理解が得にくい(動物が痛そう)、比較的高価装着しているかどうか見ただけではわからない、専用のリーダーがなければ情報入手ができない、ICチップに格納できる情報量が少ない。⑤「タワー」マイクロチップが登場する前に世界的に広がっていた方法で、長所としては、消えにくくスタンプ方式なので簡単にできる、そして一度入ればマイクロチップと同じ理由で飼い主からの理解が得にくい、施術者が少ない、動物に負担がかかる、表示できる情報量が少ない。その他には「耳刻(じこく)」という方法があります。これは片方の耳の先をカットする方法で、不妊手術済みのネコちゃんが一目でわかる事から、多くの地域猫に採用されています。このように様々な個体識別方法があります。飼い主さんそしてワンちゃん、ネコちゃんの幸せのために、何らかの個体識別を実施するように心がけて下さい。それは殺処分現象への第一歩につながる確信しています。(詩月)